

Tarkett

ノーワックスビニル床タイル

クリーニング & メンテナンスマニュアル

最近の日常清掃は、水を使ったダンプクリーニングに代わりにドライクリーニングの技術を多く用いた清掃が主流となっております。例えば、あらかじめ洗剤の付いているドライモップや多機能自動機械洗浄機が良く使われております。これらは、清掃員の負担を軽減し、手軽に清掃が可能で、環境への影響も少ないです。そして何よりも清掃用の洗剤や水の使用を減らします。

一般的な注意事項

- 床材は汚れが目立ってから、大掛かりなメンテナンスを行うのではなく、定期的な清掃が衛生的で効率的です。是非とも日常の清掃を推奨します。
- メンテナンス要領書に準じ、適宜、日常の清掃を行って下さい。
- 油やグリースが床材に付着した場合は、直ちに拭き取ってください。床材を傷める可能性があります。
- 硬質系の床材（塩ビ床材）は溶剤によって傷みます。
- 黒いゴム製の車輪や靴底は床材の色を変色させる可能性があります。椅子やテーブルの脚底は、一定品質のものをご使用下さい。特に商業用途で使用の際は、フェルト製の脚底は避け、硬いプラスチック製のものがおすすめです。
- 明るい色の床材は、通常よりも清掃頻度が上がりますのでご留意下さい。



予防処置

入口マット

清掃の必要性がある床の表面の汚れの約80%は外部から持ち込まれたものです。そして、その汚れの90%は、正しいサイズと機能が備わったエントランスマットによって進入を防げます。入口から入る汚れが少なければ少ないほど、メンテナンスの必要性は軽減します。



日常清掃

ドライモッピング— 埃や汚れはドライモップで取り除いて下さい。
もしくは



掃除機 — 埃や汚れを取り除くのに使用して下さい。特に床面積が広い場合や施工直後の清掃の際にお勧めします。



ダンプ（濡れた）モッピング— 水または洗剤を含んだダンプモップを使用して下さい。ダンプモップを使用した場合、水が床の表面にフィルムの状に残らないようにして下さい。床の表面はダンプモップで清掃後、15～20秒後には乾燥している状態にして下さい。



自動機械洗浄機— 業務用の自動機械洗浄機は、特に床面積が広い場合にお勧めします。その際、薄めた中性洗剤を使用して下さい。操作スピードはコントロール可能な300～500rpmが推奨です。白やベージュ色のパッドは使用せず、ナイロンブラシを使用して下さい。



マニュアルブラシー— 中程度の硬さのブラシを使用して下さい。
もしくは



ブラシ付きロトクリーナー―希釈した洗剤をスプレーし、水または水+洗剤で清掃します。

部分汚れの掃除



部分的な汚れはすぐに取り除いて下さい。白もしくは赤のナイロンパッドと中性洗剤を使用し、手で擦り落として下さい。(溶剤は使用しないで下さい)。汚れの外側から中心に向け、円を描くように擦って下さい。その後はきれいな水ですすいで下さい。

定期清掃



中度の汚れ(タンク付き洗浄機)

タンク付き自動機械洗浄機でスプレークリーニングを行って下さい。タンク内で水と中性洗剤を混ぜて下さい。適切な操作スピードは300～500rpmで赤パッドの使用がお勧めです。



重度な汚れ(ロトクリーナー)

水で薄めた洗剤をスプレーし、ロトクリーナー(シリンダー付き研磨機)で清掃を行って下さい。



必要に応じてドライバッフィングを行って下さい。効果として表面の光沢を回復させます。その際、白もしくはベージュパッドを使用し、適切なスピードは500～1000rpmです。

Top Clean XP surface Treatment



トップクリーンXPの表面処理は、初期コスト抑え優れた清掃性、メンテナンス性を提供するポリウレタンのコーティング材です。



施工直後の清掃について

施工期間中は床材の表面を厚紙や硬いシートで保護して下さい。また、施工後には新しい床材の表面をドライクリーニング(掃除機、ほうき等)及び濡れたモップによるダンプクリーニングを行い、施工中の埃や汚れを取り除いて下さい。